

# 令和5年度を振り返って

バスケットボール専門部

はじめに、今年度京都府大会の運営にご尽力いただいた京都府中学校体育連盟バスケットボール専門部の先生方、並びに口丹波中学校体育連盟バスケットボール専門部の先生方、会場を提供していただきました施設や関係の皆様の多大なるご協力を賜り、大会が滞りなく運営できましたことを厚く御礼申し上げます。

大会は、7月29日、30日の両日とも京都市体育館を使用しました。

男子参加校は丹後代表の与謝野町宮津市中学校組合立橋立中学校、中丹代表の舞鶴市立城北中学校、口丹波代表の亀岡市立亀岡中学校、山城ブロック代表の長岡京市立長岡中学校、井手町立泉ヶ丘中学校、京都市代表の京都精華学園中学校、京都市立西賀茂中学校、京都市立春日丘中学校、京都市立久世中学校の9校でした。

女子参加校は、丹後代表の京丹後市立大宮中学校、中丹代表の舞鶴市立青葉中学校、口丹波代表の亀岡市立大成中学校、山城ブロック代表の京田辺市立培良中学校、京田辺市立田辺中学校、京都市代表の京都精華学園中学校、京都市立桃山中学校、京都市立西京極中学校、京都市立加茂川中学校の9校でした。

1日目は、1回戦と準々決勝の計10試合を行いました。

男子1回戦では、城北が長岡に勝ち、準々決勝に進みました。準々決勝では京都精華学園が橋立に、久世が泉ヶ丘に、城北が西賀茂に、亀岡が春日丘にそれぞれ勝利し、準決勝に進みました。

女子1回戦では、西京極が大宮に勝ち、準々決勝に進みました。準々決勝では京都精華学園が青葉に、加茂川が田辺に、西京極が培良に、大成が桃山にそれぞれ勝利し、準決勝に進みました。

2日目の準決勝男子の試合は、京都精華学園が久世に114対49で勝利し、亀岡が城北に68対62で勝利しました。昨年度と同じ組み合わせとなった京都精華学園と亀岡の決勝では、強固なディフェンスからの速攻につなげる展開の速い京都精華学園のペースで試合が進み、113対43で京都精華学園が勝利し優勝を果たしました。準決勝女子の試合は、京都精華学園が加茂川に106対16で勝利し、大成が西京極に80対59で勝利し決勝に進みました。京都精華学園と大成の決勝では、前半から京都精華学園リードの展開で、途中、大成も猛攻をかけて健闘しましたが、速さや高さを生かして得点を重ねた京都精華学園が104対52で勝利し優勝を果たしました。近畿大会には、男子の京都精華学園中学校、亀岡市立亀岡中学校、女子の京都精華学園中学校、亀岡市立大成中学校が出場することとなりました。

京都精華学園女子は、その後近畿大会、全国大会と勝ち抜き、日本一に輝きました。

京都精華学園男子も、その後近畿大会を勝ち抜き、全国大会もベスト4に輝きました。

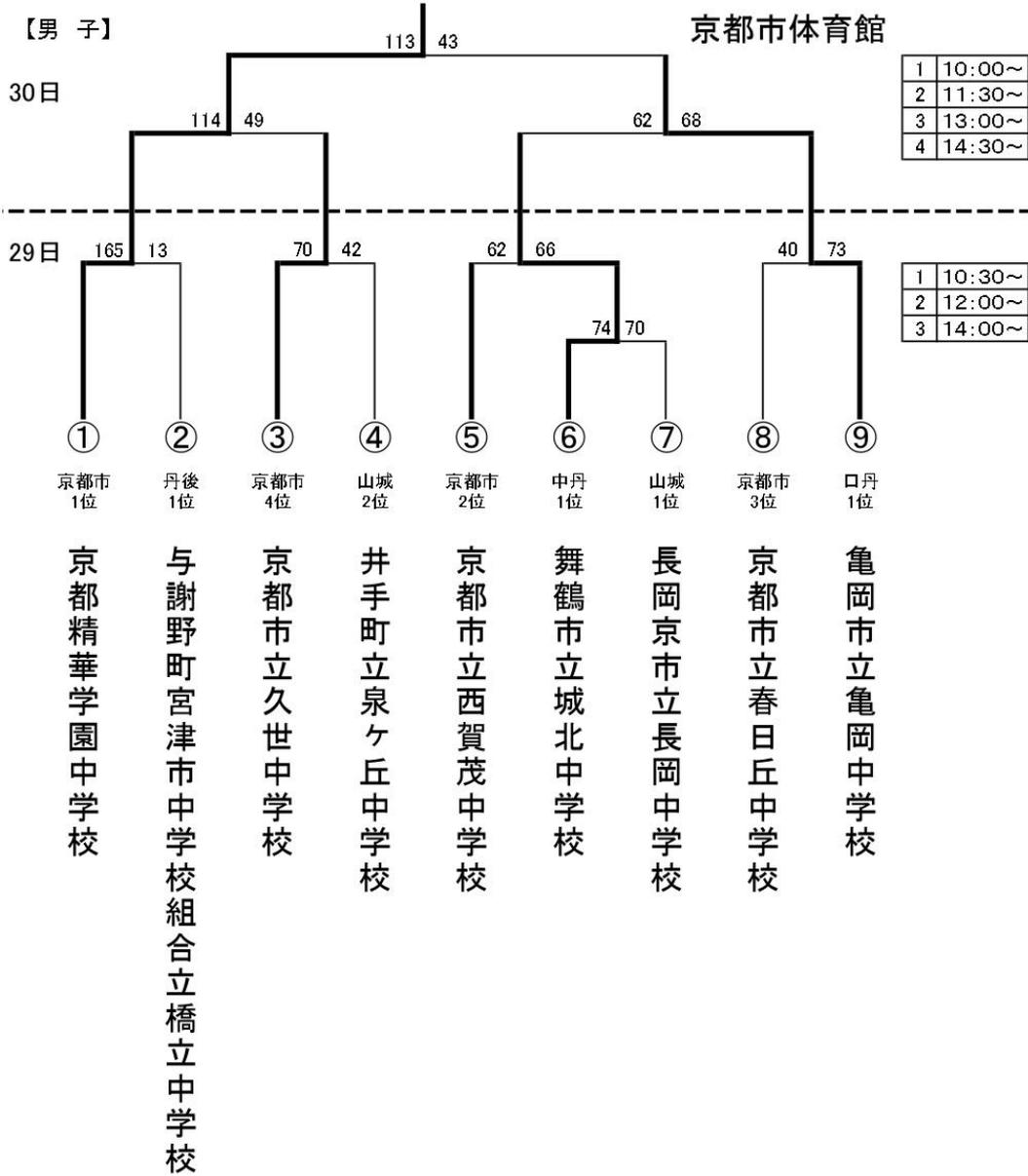
最後に、多くの先生方にご協力いただき、競技運営が円滑に行われたことに改めてお礼申し上げますとともに、京都府のチームが今後も、近畿や全国の大舞台で好成績を上げられるよう、専門部としてますます努力精進していきたいと思っております。

第76回 京都府中学校総合体育大会

バスケットボールの部 組み合わせ

【会場】

京都市体育館



# 第76回 京都府中学校総合体育大会

## バスケットボールの部 組み合わせ

